

発酵させたウコンで

専門医も驚く発酵ウコンの効果を実証!!

弱った肝臓がたちまち回復!

- アルコール性肝炎
- 脂肪肝
- B型・C型肝炎
- 糖尿病
- アトピー性皮膚炎
- ガン予防に

米国の大学がウコンに含まれる主成分クルクミンの皮膚ガン予防効果を発表して以来、各国でクルクミン研究が盛んです。日本一の長寿県、沖縄では昔から「ウコンで治らない肝臓病は治らない」といわれ、珍重されてきました。このウコンを発酵させるとその効果がさらに高まることがわかり、各地でさまざまな臨床報告が出されています。

ウコンに含まれる色素クルクミンが万病の元凶「活性酸素」を強力に除去



ウコンの根茎

ウコンは沖縄では「うっちゃん」と呼ばれ、二日酔い防止や肝臓病の特効薬として親しまれてきました。よく肝臓に効く薬はないといわれますが、ウコンに含まれる黄色い色素クルクミンや精油成分にはアルコールの分解を速め、肝臓から出る消化液、胆汁を増やす働きがあるので。このほか、最近の研究で胃潰瘍や十二指腸潰瘍の原因とされるヘリコバクター、ピロリ菌の活動を抑制することなども知られています。

ウコンに含まれる主要な有効成分「クルクミン」は遺伝子の働きを狂わせて老化を早めたり、ガンやアトピー性皮膚炎

など万病の元凶とされる「活性酸素」の併害を防ぐ「抗酸化作用」がきわめて強いことが解明されています。91年に米国のラトガース大学が「クルクミンは皮膚ガンの発生を防ぐ」という研究報告を発表したことが契機となり、今やクルクミンの研究は世界中に広がっています。

インドの研究では血液中のコレステロールや過酸化脂質の低下、喫煙者の尿中の有害物質が約40%も減少することが報告されています。日本では厚生省の「がん克服新10か年戦略」における発ガン抑制を検証する素材のひとつにクルクミンが入り、京都府立医大のグループを中心に研究が続けられています。その結果、動物実験で大腸ガン、前立腺ガン、肺ガン、乳ガンなどの発ガン抑制効果が確認されました。

ウコンは沖縄では“肝臓”の代名詞

本土の盆踊りにあたる沖縄本島の祭り「エイサー」の三日間、人々は浴びるほどお酒を飲み、夜を徹して踊り続けます。そして翌朝、酔いを醒ますために飲むのが「うっちゃん」ことウコンです。沖縄では昔から二日酔いの特効薬として珍重されてきました。沖縄の街を歩くと八百屋の店頭で大きなショウガの形をした生のウコンを見かけます。

発酵させたウコンはミネラルをバランスよく含む

今、医学会ではビタミンよりミネラルの研究が盛んになってきています。人間の生命活動は細胞がつくる数百種類の酵素の活躍によるものです。酵素には細胞の酸化を防ぐ抗酸化作用があり、酵素の働きを助けるのがビタミン、酵素を構成する成分となるのがミネラルです。ミネラルが欠乏すると酵素をつくることができず、ビタミンの機能も十分に発揮されません。ミネラルの必要量はごくわずかですが、バランスよく補うことが大切です。発酵させたウコンにはさまざまなミネラル成分がバランスよく含まれています。



「秋ウコン」とは



ウコンの花

- 英 語 名 ターメリック
- 学 名 クルクマ・ロンガ
- 通 称 秋ウコン
- 分 類 ショウガ科の多年草
- 原 産 地 熱帯アジア
- クルクミン含有率 3.6%
- 精油成分 7.3ml/kg
- 特 徴 切り口が鮮やかなオレンジ色。秋に白い美しい花を咲かせます。
- 歴 史 15~16世紀に東南アジアから琉球（沖縄）に伝わったとされ、江戸時代には厳しい専売制を敷き、貴重な輸出資源としていました。中国では古くから漢方薬(主薬名：姜黄)として使われています。
- 用 途 カレー粉に入っている黄色いスパイス、ターメリックとして使用されています。またタクワンや辛子の発色材として日本人の食卓で日常的に親しまれているものです。

■主な成分と働き

- 【糖質】
- クルクミン 肝臓を強化。胆汁分泌促進。利尿作用。肝臓の解毒作用。皮膚・胃・大腸ガンを抑制することが動物実験で判明。
- 【ミネラル】
- カルシウム 神経の伝達にかかわり、不足すると自律神経失調症、不眠を起こす。骨粗鬆症、動脈硬化、腎臓結石、糖尿病などの予防効果がある。
 - カリウム タンパク質代謝を促進
 - マグネシウム 飲酒によって失われやすいミネラルのひとつ。ビタミンCの代謝に必要。カルシウム、ナトリウム、リンの代謝を潤滑にする。
- 【微量ミネラル】
- セレンニウム 成人病を誘発する過酸化脂質の生成を妨げる抗酸化作用がビタミンEの100倍。
 - 亜 鉛 欧米では「最も重視すべきミネラル」。糖尿病、ガン、高血圧を予防。「性のミネラル」とも呼ばれ、精液の合成や生殖機能に不可欠。
 - マンガン ガン、糖尿病を予防。抗酸化作用をもつSODの合成に関与。不足すると性機能・妊娠機能が低下。
 - リ ン 血液を中性に保持。脂肪や糖の代謝を促進。肝臓機能を正常に働かせる。健康な歯と歯茎をつくる。

秋ウコンを発酵させると抗酸化作用が1.5倍に！老人の「体のサビ」が大幅に減って、若返った。

私たちはウコンを心がけて摂ることで、多くの疾患を遠ざけることができそうですが、ウコンには苦みが強いという難点があります。そこで飲みやすくするために琉球大学農学部の本郷富士彌教授が企業と共同で考案したのが、バイオ技術を駆使した「発酵」作戦です。ウコンには秋ウコンと春ウコンがありますが、

本郷教授が選んだのはクルクミンをたっぷり含む秋ウコン。春ウコンのクルクミン含有率0.3%に対し、秋ウコンのそれは3.6%とケタ違いです。その秋ウコンに、サトウキビを圧搾したあとに残る糖蜜や乳酸菌をはじめとした7種類の有用微生物菌を加えて24時間発酵させると飲みやすく変化します。

しかも、ウコン本来の効能が格段に高まるのがわかり、「良薬、口に苦し」の常識を覆したのです。

発酵させたウコンで最も注目すべき点は「抗酸化作用」が元のウコンの1.5倍に高まることです。名古屋大学の大澤俊彦教授の実験で判明しました。

それを具体的に裏付けるデータもあります。沖縄の老人病院の患者10人に発酵ウコンを飲んでもらったところ、老化のために体の酸化が進み、いわば体のサビを表す物質8・OHdGが尿中に存在していたものがどんどん下がって、20代の若者の2倍のところまで低下しました。体が大幅に若返ったわけです。発酵ウコンはミネラル成分が増加する

アルコール性肝炎に対する即効性が顕著。二日酔い原因物質の分解速度は5割アップ!!

発酵ウコンを治療に併用している医師はたくさんいらっしゃいますが、とりわけアルコール性肝炎には即効性があり、「お酒をやめなくても、肝機能の数値がよくなる」と話す医師もいるほど。お酒を断てない人たちには心底、重宝されています。

本郷教授らの動物実験では、悪酔いや二日酔いの原因となるアセトアルデヒドを分解する速度は、発酵させたウコンを飲まない場合の約50%も上がることがわかりました。

肝炎の名医として全国的に知られ、著

という特長もあります。秋ウコンやサトウキビが栽培されている沖縄の土壌はサンゴ礁が隆起してできたものなのでカルシウム、マグネシウム、カリウムなどのミネラル成分に富み、植物はすべてミネラル成分が豊かです。

秋ウコンにサトウキビの成分を加えて発酵させることで、ミネラル成分はより強化されるわけです。たとえばカルシウムは6倍も増えます。しかも驚いたことにカルシウムとマグネシウムの含有比率は2:1。カルシウム吸収を高める理想的なバランスですから女性の骨粗鬆症の予防にはもってこいといえます。

書も多い東京・三軒茶屋病院内科の野村喜重郎先生は2年前から薬と併用して発酵させたウコンを使っていますが、「発酵させたウコンはいわば『畑の肝臓』。普通の粉末ウコンとは比べようもないほど肝臓への効果が顕著だと話します。

また、元来ウコンには抗炎症作用が強く、アトピー性皮膚炎に対する効果も報告され、現在、北九州市・つるたクリニックにおいて治療中です。

こうした医師や専門家の関心の高さが発酵ウコンの偉大さを物語っています。

体験者が報告

実感！発酵させたウコンの即効力

薬で治らなかつた難病も『発酵ウコン』で改善！！

発酵ウコンの愛用者に共通しているのが「もう手放せない」という声です。何を試しても治らなかつた疾患が短期間で改善したケースも少なくありません。

更年期に入ってから全身に吹き出したかゆい発疹が、『発酵ウコン』の抗炎症作用で消失。

板坂弘子さん（茨城県 53才）

50才になって更年期に入った途端、体中に発疹が吹き出し、かゆみがおさまらない事態に陥りました。若いころからアトピーっぽい乾燥肌でしたが、

こんなにひどい状態は初めてで、寝ている間にもかきむしり、パジャマに血がにじんでいたくらいです。皮膚科にいったも、かゆみ止めと抗ヒスタミン剤の投与だけで、根本的な治療にはなりません。別の病院で血液検査を受けると、お酒も飲まないのになぜか肝機能のGOT＝60（正常値80～88）に上がっていることがわかりました。

知人に教えられて取り寄せたのが『発酵ウコン』です。肝機能を改善するうえ、抗炎症作用が高いので皮膚疾

患にもいいと聞きました。私は顆粒状のものを1日2本、お湯といっしょに飲んでいました。飲みはじめて3か月ほどたった時、

飲みすぎて肝硬変に。『発酵ウコン』でY・GTP＝230が70台に下がった。

山中康江さん（岡山県 52才）

うちは飲食店を経営しています。お客様につきあう機会が多いのと、私自身

お酒が好きなこともあってつい飲み過ぎてしまい、6年前、「このままだと

専門医も驚く
効果を実証！！

肝硬変になるから酒をやめなさい」と医者から言われました。Y・GTP＝230（正常値＝80～88）でした。

ともかく体がだるくてたまらず、やる気というものがまったく湧きません。6カ月くらいお酒をやめると回復するのですが、また飲んでしまいます。どうしてもやめられません。3年前には脂肪肝になり、2年前、とうとう肝硬変と診断されました。怖い病気だということにはわかってはいますから、ショックでした。

『発酵ウコン』を取り寄せたのはテレビのワイドショーで司会者が紹介していたのを見たのがきっかけです。

何でもいいたくありません。何でもいいからすがりたい一心で、顆粒状のスティックを朝晩1包ずつ飲みはじめました。スーパード見かけたから、ペットボトルに入ったウコンのお茶を買いだめすることもあります。夏場はこれを冷蔵庫に冷やしておく便利です。

1年後に検査を受けるとY・GTP＝72になっていました。今年の検査でもY・GTP＝75と正常値に近い数値でした。先生もびっくりしています。エコーで肝臓を見てもうっすら固くなっているのは部分的で、まだ手遅れではないようです。うれしくてなりません。完全にお酒をやめたわけではありません。ウコンのおかげだと思っています。『発酵ウコン』があればだいじょうぶ、そんな心強さを感じています。

肝臓の名医にインタビュー

肝炎治療に『発酵ウコン』が手放せない
免疫を賦活し、肝細胞の炎症をおさえる。



三軒茶屋病院
野村喜重郎先生

私のごころには全国からアルコール性肝炎、B型・C型肝炎の患者さんが見えます。これまでは肝炎の治療薬としては、ウルソ酸（胆汁酸）とインターフェロンを中心に投与し、免疫賦活食品を併用していましたが、これらに昨年から『発酵ウコン』も加えています。患者さんにはウコンの吸収をよくするために牛乳と一緒に飲むよう指導しています。

これまで800名近い患者さんに『発酵ウコン』を投与し、経過を見てきました。Y-GTP \leq 200以下のアルコール性肝炎でしたら、お酒を減らしてウコンを毎日飲むことでひと月以内に正常値に戻るようです。脂肪肝もすぐ改善しています。

重症の患者さんにはウルソ酸と発酵させたウコンを併用します。Y-GTP \leq 353（正常値 \leq 60）だった40代男性は9か月でY-GTP \leq 35に改善しました。やはり40代でY-GTP \leq 830だった男性は58になりました。

B型肝炎の症例では、20代男性がインターフェロン、ウルソ酸、発酵させたウコンの併用でGOT \leq 376 \rightarrow 23（正常値40以下）、GPT \leq 820 \rightarrow 20（正常値45以下）、HBe抗原 \leq 5 \rightarrow 0 \cdot 25（1以下が陰性で正常）になりました。50代男性はウルソ酸と『発酵ウコン』だけでGOT \leq 320 \rightarrow 20、GPT \leq 597 \rightarrow 23、HBe抗原 \leq 170 \rightarrow 0 \cdot 6と正常値になりました。

C型肝炎の症例では40代男性がウルソ酸と『発酵ウコン』などの併用でGOT \leq 52 \rightarrow 25、GPT \leq 41 \rightarrow 15、HCV RNA \leq 1 \cdot 8 \rightarrow 0 \cdot 5（0 \cdot 5以下が陰性）になりました。50代男性は同じ治療で、GOT \leq 218 \rightarrow 25、GPT \leq 218 \rightarrow 32、HCV RNA \leq 5 \cdot 9 \rightarrow 0 \cdot 5と正常値になりました。

インターフェロンも一緒に併用したC型肝炎の症例では、HCV RNA \leq 15だった50代男性が0 \cdot 5以下になりました。輸血で感染した60代女性は、GOT \leq 150 \rightarrow 26、HCV RNA \leq 2600 \rightarrow 36とヘルシーキヤリアとなっています。

この1年で、C型肝炎の患者さんの8割を寛解させました。『発酵ウコン』の投与でインターフェロンの副作用も軽減するようです。更年期の女性に多いルポイド肝炎の患者さんにステロイドを使わず、ウルソ酸と発酵させたウコンによる治療を行って正常値に戻ったケースが2例あります。

『発酵ウコン』で余命3年のB型肝炎が回復。医者も驚くほど肝機能の数値が下がった。

武田良雄さん（長崎県 55才）

10年前、私は慢性B型肝炎だと診断されました。親からの感染です。足がむくみ、お腹が腫れ、血を吐いたり、鼻血が出ることもたびたびありました。肝機能はGOT \leq 120（正常値 \leq 8 \sim 38）、GPT \leq 230（正常値 \leq 4 \sim 43）。余命は3年と医者から宣告されました。半年入院して肝機能が落ちつき、退院しましたが、その後も数値は上がり下がりをくり返しました。カゼをひくと途端に数値が上がるのです。

2年前、GOT \leq 130、GPT \leq 250にはね上がりました。肝硬変の薬を毎日注射し、点滴をしましたが効果がなく、病院にも見放されました。絶望のどん底にいた時、テレビで肝臓にいいものがあると知り、注文したのが発酵させたウコンでした。私もウコンに賭けてみることにしました。顆粒状でスティックに入ったものを朝晩1包ずつお湯と一緒に飲みはじめたところ、1週間で肩の重さやどつしよもない体のだるさがとれ、食欲が出て、体が軽くなってきました。飲みはじめると月後に検査を受けるとGOT \leq 130、GPT \leq 80に下がっていて、医者がビックリしていました。

今年受けた検査ではGOT \leq 46、GPT \leq 70になりました。現在、病院の注射はひと月に1回打っているだけで、体調がよく、仕事も昔と同じように早朝から夜まで働いています。

以前は4万4000しかなかった血小板（正常値 \leq 13万 \sim 37万個/mm 3 ）が7万5000に増えました。鼻血もピタッと止まっています。ウコンには感謝の気持ちでいっぱいです。ウイルス性肝炎には世間の偏見がつきまといいますが、それを恐れず、同じ病気に苦しんでいる人たちに『発酵ウコン』の力を伝えていきたいと思っています。

◆ ◆ ◆
すぐれた健康食品は飲んでいると必ず何か実感できるものです。『発酵ウコン』の愛用者の多くは「普通のウコンを飲んでいてもよくわからなかったけど、『発酵ウコン』に変えて効果がはっきりわかった」と語ります。生活習慣病の改善、予防にうれしい情報がひとつ増えたと思いませんか。

『発酵ウコン』に関するお問い合わせは

●日本発酵食品研究会へ

☎03-35556-9937

（月～金曜 午前10時～午後5時）

※土・日・祝休

この電話番号は、お問い合わせ専用回線です。